

第 **7** 期  
●  
事業報告書

2005年4月1日から  
2006年3月31日まで



# わっ!!

と言わせるコンテンツを創造し、  
発信し続ける会社です。



## アミューズメント事業

パチスロ・パチンコの人気機種やカジノゲームなどを、携帯電話やパソコン上で再現。とことん遊べる楽しいコンテンツを企画・開発。実物にも劣らない興奮をお届けしております。



## サウンドコミュニケーション事業

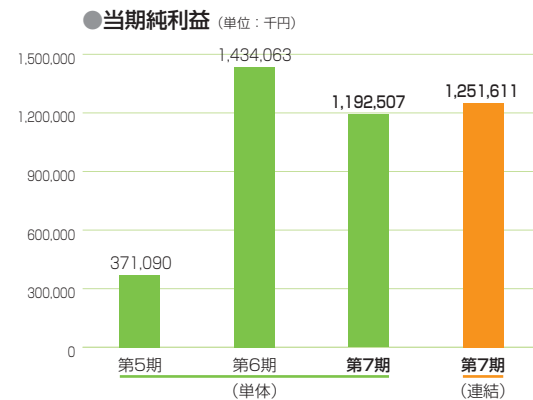
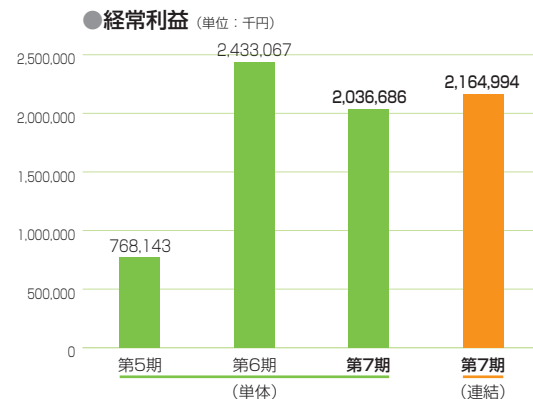
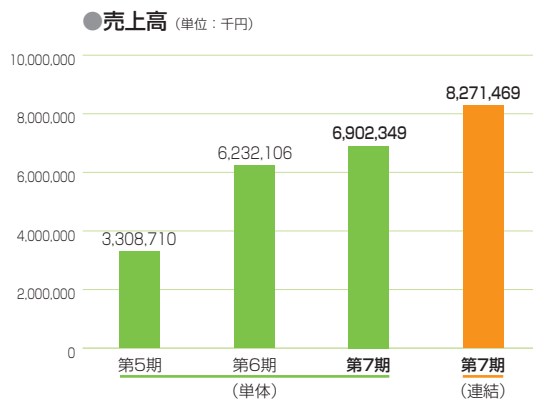
携帯電話などに向けて、着信メロディやアーティストの生音源や生映像を着うた®/着ムービー™として配信するコンテンツを展開しています。中には、高音質や動画にこだわったサイトもございます。



## 海外事業

中国を中心としたアジア地域に対し、携帯電話向けコンテンツの配信をおこなっております。特に成長著しい中国市場においては、2005年4月に有力携帯コンテンツ配信会社を買収し、本格展開を図っております。

## 財務ハイライト



\*当期より連結財務数値を開示しております。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、当期（2005年4月1日から2006年3月31日まで）におきましては、パソコン向けオンラインパチスロゲーム「777タウン・ドットネット」の有料サービス開始や、携帯電話を使った新システム「muPass」（ミューパス）のサービス開始、そして中国のコンテンツ会社を買収し、中国市場へ本格展開と中期的な戦略事業を開始いたしました。しかしながら、新規事業の展開の遅れにより、期初の事業計画から修正いたしました。

以上の結果、連結売上高82億71百万円、連結経常利益21億64百万円、連結当期純利益12億51百万円となりました。今後は、上記の戦略3事業を中核に推進し大きな飛躍を目指しております。

なお、当期の配当につきましては、1株につき2,500円の期末配当を実施いたしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2006年6月

代表取締役社長

大野政昭



# トップインタビュー

感動や楽しさの追求による事業価値の拡大をテーマに  
新たな成長と飛躍を目指していきます。

代表取締役社長 **大野 政昭**

**Q1 >> まず、2006年3月期の経営全般についての総括をお聞かせください。**

**大野**●当社の事業環境としてのモバイルコンテンツ市場は、1999年のi-mode サービス開始以来の成長を持続していますが、その中の着信メロディ市場については成熟期に入っており、増え続けてきた競合他社の間にも優勝劣敗がつき始め、各社とも伸び悩みを脱却する新しい方向性の模索に取り組んでいます。

2006年3月期は、当社の新たな事業拡大の柱となる、PC向けオンラインゲーム配信、生活周辺の電子機器をプラットフォームとする「muPass」事業、そして2005年4月に子会社化した中国法人における携帯コンテンツ配信の海外展開と、3方向の重点テーマへの取り組みを開始した1年でありました。

しかしながら、サミー製パチスロ機「北斗の拳」の携帯電話向けゲーム投入により利益が大幅に増加した2005年3月期と比較し、2006年3月期はPC向けオンラインゲームサイト「777タウン・ドットネット」の立ち上げによる投資負担などから、増収減益の結果となりました。

期初計画の未達は、当社設立以来のことであり、大変不甲斐なく感じておりますが、2006年3月期の反省を経て、一人ひとりのユーザーの満足につながるクリエイティブの強化を重視した態勢の立て直しを図り、2007年3月期からは、更なる事業価値の拡大に向けて再スタートを切りました。

\*2006年3月期より、連結決算となりました。

**Q2 >> 3つの重点テーマの詳細と、2006年3月期における取り組みについてご説明願います。**

**大野**●まず、アミューズメント事業においては、「脱・携帯」の戦略事業として、PC向けオンラインパチスロゲームを配信する「777タウン・ドットネット」における有料サービスを2005年8月よりスタートしました。

携帯電話向けのゲームよりもコンテンツの付加価値を更に高めたPC向けオンラインゲームは、一人当たりの利用単価が月額1,000円以上と、高い収益性が期待できます。

2006年3月期は有力パチスロメーカー9社の参画を得て、コンテンツを充実し、ユーザー満足度の向上とサービス面の強化に努めましたが、課金・決済方法の多様化に時間がかかったこともあり、有料会員数は2006年3月期末現在で約3万人にとどまりました。2007年3月期には、これを15万人に増加させることを目標とします。





短期的には、この「777タウン・ドットネット」への取り組みが、3つの重点テーマの中でも最重要課題であり、業績への寄与も大きく期待できます。

サウンドコミュニケーション事業においては、携帯電話にダウンロードした着信メロディやプログラムデータを生活周辺の電子機器に配信できる新システム「muPass」のサービスを開始し、2006年3月期は参画企業3社から対応製品が3製品発売されました。

「muPass」については、対応製品に提供する専用のICチップをソフトウェア化し、玩具などをはじめとするさまざまな電子機器を対象に、音楽配信に限らない多様なプログラム配信の幅を広げていくことで、2007年3月期中に対応製品140万台の普及を目指します。

重点テーマの3番目は、海外事業展開です。当社は、2005年4月に、中国のモバイルコンテンツプロバイダーである広州市華創信息技术有限公司を子会社化し、本格的な中国展開を開始しました。

中国には現在約4億件の携帯電話加入件数があり、年間約6,000万件増の成長を持続しています。その中で当社は、2006年3月期末現在で約219万人の会員数を有しています。また、新たにチャイナユニコム（中国第2位のキャリア）への配信を拡大しました。

2006年3月期後半は、サービスの幅を広げたことによる負担増から一旦、収益の悪化を招きましたが、同社本来の強みを発揮できるSMS（ショートメッセージサービス＝携帯電話間のメールをベースとした情報配信）に再度注力し、中国モバイルコンテンツ市場におけるシェア拡大を目指しています。



パソコン向けオンラインパチスロゲーム  
「777タウン・ドットネット」



バーチャルホール店内



ゲーム画面  
(アラジン2エボリューション)

©Sammy



着信メロディやプログラムデータを  
生活周辺の電子機器に配信



ユビテル社  
カーローダー

三洋電機  
IHクッキングヒーター



バンダイ社  
女兒向け玩具

**Q3 >> 2009年3月期をゴールとする成長ビジョンの内容について詳しくお聞かせください。**

**大野** ● 当社はこれまで、将来における具体的な数値目標を掲げて事業を推進してきましたが、業績拡大の一時的な停滞を余儀なくされた2006年3月期を体制整備の1年として仕切り直し、今回3カ年にわたる成長ビジョンを策定いたしました。

当社の基本的な戦略は、第1ステップとして会員（リーチ）を拡大し、第2ステップとして顧客単価の引き上げを進める形で展開しています。この成長ビジョンにおいても、会員拡大策として「コンテンツの拡大・強化」「プラットフォームの拡大」「海外事業展開」を行い、顧客単価の引き上げ策として「付加価値サービスの拡大・強化」「クロスセリングの実施」を中長期戦略として推進していきます。

「コンテンツの拡大・強化」については、EP（電子出版）、コミュニティ関連といった新たなジャンルのコンテンツを強化・開拓に取り組みます。

「プラットフォームの拡大」については、特に「muPass」に注力し、更なる対応機器の普及と、専用サイトの会員数確保を目指します。「muPass」は、普及すれば高い収益効果が期待できるものと思います。

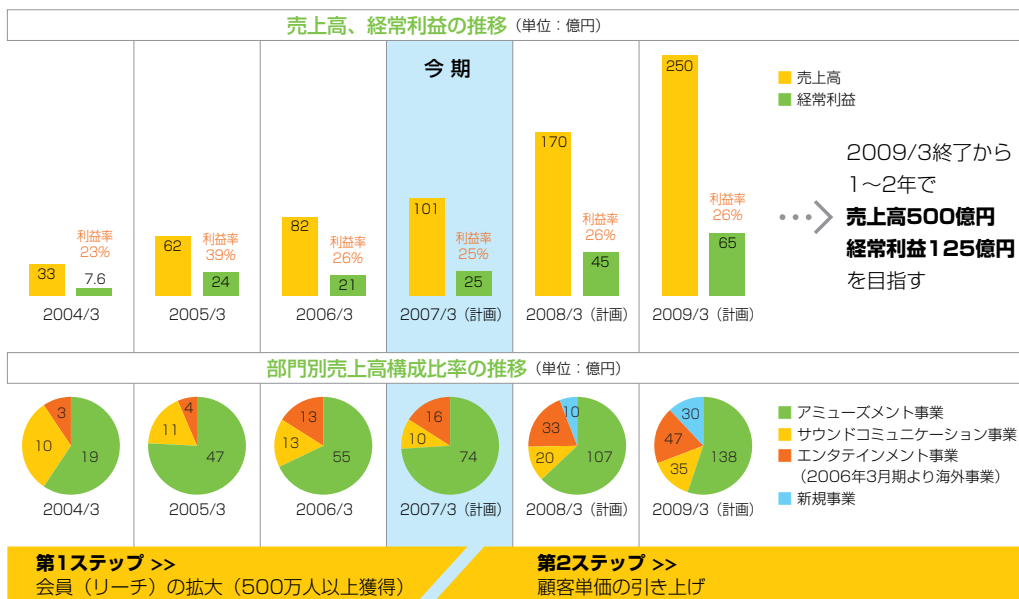
**第1ステップ** 会員（リーチ）の拡大

- コンテンツの拡大・強化
- プラットフォームの拡大
- 海外事業展開

⋮

**第2ステップ** 利用単価の引き上げ

- 付加価値サービスの拡大・強化
- クロスセリングの実施



(注) 1. 2006/3より連結決算となりました。  
2. 将来の業績等に関する記載は、リスクや不確定な要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。



「海外事業展開」では、前述の広州市華創信息技术有限公司について3年後を目処とする米国NASDAQ上場を目指し、更なる事業規模の拡大を果たしながら、中国における事業拡大だけでなく、欧米への進出も計画しています。

一方、「付加価値サービスの拡大・強化」のステップでは、パチスロなどのゲームコンテンツや情報コンテンツ等の高付加価値なコンテンツをPCプラットフォームへ提供する「777タウン・ドットネット」を高単価サービスとして成功させ、3年後には現在の携帯サイト「777タウン」と同規模の売上高約50億円を目指します。

さらに、「クロスセリングの実施」として、既存サービスから新規サービスへの効果的な顧客誘導により、EC（電子商取引）サービスなど、周辺の複数サービスの提供を行い、顧客当たりの単価引き上げを図っていきます。

成長ビジョンでは、こうした取り組みにより、2009年3月期における売上高250億円、経常利益65億円の達成を目標としています。

#### Q4 >> 個人情報の管理や、コンプライアンス面の整備状況についてお聞かせください。

**大野**●各事業分野における会員組織を営業基盤とする当社にとって、登録ユーザーの個人情報に関する管理体制の構築と維持は、極めて重要な経営課題です。

当社は万全のセキュリティシステムを保持することで、個人情報保護を厳重化するとともに、社員一人ひとりに対しても、コンプライアンス教育を徹底し、個人情報の取扱いにとどまらず、パブリックカンパニーとしての強い自覚と社会的責任感をもって業務を遂行する人材と組織を育てています。

#### Q5 >> 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**大野**●当期において、期初の計画を達成できなかった点につきましては、大変申し訳なく、多くの株皆様にご心配をかけましたことをお詫び申し上げます。

当社は、「ネットワークを通じて、世の中に“わっ”を提供する」をビジネスコンセプトとして、感動や楽しさの追求による事業価値の拡大をテーマに、新たな成長と飛躍を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、この志へのご理解とご支援を賜り、今後の当社の成長力に期待していただきたいと存じます。今後とも引き続きご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

# Sammy NetWorks NOW

「777タウン・ドットネット」の  
有料サービスを**開始**。

パソコン向けオンラインパチスロゲーム

「777タウン・ドットネット」は、

2005年5月にテスト版のスタート、

2005年8月には有料サービスを開始いたしました。

今後も有力パチスロメーカーのコンテンツの

充実に努めてまいります。





新システム「muPass」のサービスを**開始**。

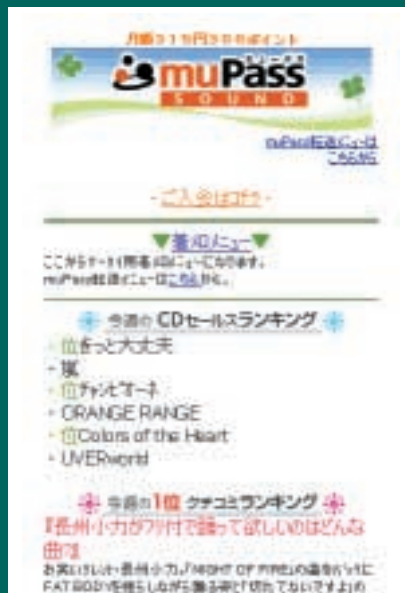
携帯電話を使った新システム

「muPass」（ミューパス）のサービスを

2005年8月に開始いたしました。

2006年3月期には対応製品が3製品発売され、

今後も対応製品の発売が予定されております。



**中国**の携帯コンテンツ会社を買収。  
中国市場で本格的な事業展開を**開始**。

2005年4月、急速に市場を拡大している

中国の携帯コンテンツ会社、

広州市華創信息技术有限公司の持株会社である

JVMMS Holdings Ltd.の株式を取得し、

子会社化いたしました。



# 連結営業概況

## 全般の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油価格の高騰、米国経済の先行きに対する不安はあるものの、企業収益の改善に伴い、設備投資や個人消費が増加し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

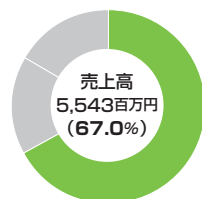
また、当社グループを取り巻く環境としましては、日本国内における携帯電話等の2006年3月末時点での契約数は9,648万件（前年比5.5%増）<sup>(\*)</sup>であり、そのうちインターネットに接続可能な携帯電話の契約数は7,975万件（前年比6.1%増）<sup>(\*)</sup>となっております。モバイルコンテンツ利用者の割合およびモバイルコンテンツ市場も堅調に推移しておりますが、当社グループの主要事業の1つでもあります着信メロディの市場など、一部の市場では縮小傾向となっております。

このような状況の中、当社グループは携帯電話向けのパチンコ・パチスロゲーム、着信メロディ等の既存サービスの拡大・維持のみならず、当社事業の新しい柱となるべく新サービス、PC等の携帯電話以外の他プラットフォームへのコンテンツ配信展開における、それぞれの企画、コンテンツ配信に必要なシステムの開発、サービスの立上げを積極的に行ってまいりました。その結果、当連結会計年度の業績は、売上高82億71百万円、経常利益21億64百万円、当期純利益12億51百万円となりました。

※ 社団法人電気通信事業者協会調べ

## 事業別の概況

### ●アミューズメント事業



>> アミューズメント事業におきましては、主力コンテンツである携帯電話向けパチスロ・パチンコゲームサイト「サミー777タウン」等既存サイトにて、アプリゲームを実機販売に先駆けての先行配信やアプリゲーム以外のコーナーの充実に努めてまいりました。また、当社グループが戦略事業の1つと位置付ける、パソコン向けオンラインパチスロゲーム「777タウン・ドットネット」におきましては、2005年8月に有料サービスを開始して以来、ユーザー満足度の向上、サービス面の強化として、決済方法の多様化やコンテンツの充実に努めてまいりました。

この結果、アミューズメント事業の売上高は55億43百万円となりました。

### 主なコンテンツサービス



©Sammy

#### ●サミー777タウン

サミーグループのパチスロ・パチンコ機のゲーム、着信メロディ、各種情報、ムービー等がダウンロードできます。

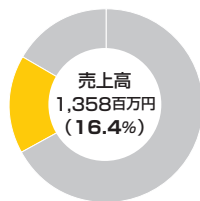


©Sammy

#### ●777タウン・ドットネット

サミーなどの人気パチスロがオンライン上で楽しめます。

## ●サウンド コミュニケーション事業



>> サウンドコミュニケーション事業におきましては、高音質着信メロディサイト「プラチナメロディ」などの既存サイトのコーナーの充実にも努めるとともに、新規サイトとして、着うた・着ムービー配信サイト「プラチナうた&ライブ」を2005年5月にスタートいたしました。また、当社グループが戦略事業の1つと位置付ける、携帯電話を利用した新サービス「muPass（ミュールパス）」におきましては、新たな参画企業の獲得やmuPass対応製品の普及に努めてまいりました。

この結果、サウンドコミュニケーション事業の売上高は13億58百万円となりました。

### 主なコンテンツサービス



©BANDAI NETWORKS & Sammy NetWorks

#### ●プラチナメロディ

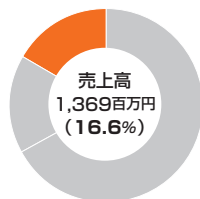
プラチナメロディは、着信メロディや音と映像を自由に組み合わせることができるプラチナムムービー等をダウンロードできます。



#### ●プラチナうた&ライブ

国内外トップアーティストのライブ楽曲などを、着うたや着ムービーで楽しめます。

## ●海外事業



>> 海外事業におきましては、2005年4月に中国において、モバイルコンテンツプロバイダーである広州市華創信息技术有限公司を子会社化し、本格的な中国展開を開始しております。2005年12月末時点の中国国内での携帯電話加入件数は3億9,300万件<sup>(※1)</sup>、前年比約6,000万件増<sup>(※1)</sup>と成長著しく、携帯端末の機能向上もあいまって携帯コンテンツ市場も高成長を遂げております。

このような環境下、当社グループは主力のSMS（ショートメッセージサービス）<sup>(※2)</sup>及びMMS（マルチメディアメッセージングサービス）<sup>(※3)</sup>に注力しつつ、成長著しいIVR（インタラクティブ・ボイス・レスポンス）<sup>(※4)</sup>やCR（カラーリング）<sup>(※5)</sup>といった新分野にも積極的に展開してまいりました。

この結果、海外事業の売上高は13億69百万円となりました。

※1 株式会社サーチナ調べ

※2 携帯電話間で短いテキスト（通常100から200文字）をやり取りするサービスのことで。

※3 従来のSMSに、待受け画面、着信メロディ、動画等を添付できるサービスのことで。

※4 携帯電話の発信者のダイヤル操作に合わせて、ユーザーが知りたい情報を提供するサービスのことで。

※5 携帯電話の呼び出し音を好きな曲や歌に変更できるサービスのことで。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 2006年3月31日現在
<b>●資産の部</b>	
流動資産	6,855,692
現金及び預金	4,517,770
売掛金	2,136,435
商品	3,828
繰延税金資産	61,691
その他	135,967
固定資産	3,620,925
有形固定資産	150,797
無形固定資産	2,631,227
投資その他の資産	838,900
<b>資産合計</b>	<b>10,476,617</b>
<b>●負債の部</b>	
流動負債	1,260,182
買掛金	561,827
未払金	203,425
未払法人税等	388,513
賞与引当金	71,599
その他	34,815
固定負債	52,548
<b>負債合計</b>	<b>1,312,731</b>
<b>●少数株主持分</b>	
<b>少数株主持分</b>	<b>725,376</b>
<b>●資本の部</b>	
資本金	2,286,075
資本剰余金	2,930,610
利益剰余金	2,957,174
其他有価証券評価差額金	39,873
為替換算調整勘定	224,776
<b>資本合計</b>	<b>8,438,509</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>10,476,617</b>

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 2005年4月1日から 2006年3月31日まで
売上高	8,271,469
売上原価	3,476,900
売上総利益	4,794,569
販売費及び一般管理費	2,628,248
営業利益	2,166,320
営業外収益	5,038
営業外費用	6,364
経常利益	2,164,994
税金等調整前当期純利益	2,164,994
法人税、住民税及び事業税	900,814
法人税等調整額	△42,821
少数株主利益	55,388
当期純利益	1,251,611

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 2005年4月1日から 2006年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,041,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,782,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	78,700
現金及び現金同等物の減少額	△1,732,145
現金及び現金同等物の期首残高	6,249,915
現金及び現金同等物の期末残高	4,517,770

# 個別財務諸表

貸借対照表		(単位：千円)	
科目	当事業年度 2006年3月31日現在	前事業年度 2005年3月31日現在	
<b>●資産の部</b>			
流動資産	5,963,553	8,174,710	
現金及び預金	3,868,595	6,249,915	
売掛金	1,777,344	1,782,487	
商品	3,828	5,949	
前払費用	106,059	30,893	
繰延税金資産	61,691	92,717	
短期貸付金	140,000	—	
その他	6,034	12,747	
固定資産	3,368,814	894,769	
有形固定資産	102,681	58,262	
無形固定資産	248,447	194,496	
投資その他の資産	3,017,685	642,010	
<b>資産合計</b>	<b>9,332,368</b>	<b>9,069,480</b>	
<b>●負債の部</b>			
流動負債	1,125,189	1,908,599	
買掛金	561,827	590,679	
未払金	98,392	270,299	
未払費用	7,650	8,003	
未払法人税等	358,554	863,552	
未払消費税等	10,574	106,758	
前受金	3,526	—	
預り金	13,064	11,842	
賞与引当金	71,599	57,463	
固定負債	52,548	38,408	
<b>負債合計</b>	<b>1,177,738</b>	<b>1,947,008</b>	
<b>●資本の部</b>			
資本金	2,286,075	2,246,125	
資本剰余金	2,930,610	2,890,659	
利益剰余金	2,898,070	1,948,817	
利益準備金	2,885	2,885	
当期末処分利益	2,895,184	1,945,931	
その他有価証券評価差額金	39,873	36,870	
<b>資本合計</b>	<b>8,154,629</b>	<b>7,122,472</b>	
<b>負債・資本合計</b>	<b>9,332,368</b>	<b>9,069,480</b>	

損益計算書		(単位：千円)	
科目	当事業年度 2005年4月1日から 2006年3月31日まで	前事業年度 2004年4月1日から 2005年3月31日まで	
売上高	6,902,349	6,232,106	
売上原価	3,074,237	2,178,746	
売上総利益	3,828,111	4,053,360	
販売費及び一般管理費	1,788,759	1,563,508	
営業利益	2,039,351	2,489,851	
営業外収益	3,408	325	
営業外費用	6,072	57,110	
経常利益	2,036,686	2,433,067	
特別利益	—	35,000	
特別損失	—	8,046	
税引前当期純利益	2,036,686	2,460,020	
法人税、住民税及び事業税	887,000	1,091,000	
法人税等調整額	△42,821	△65,043	
当期純利益	1,192,507	1,434,063	
前期繰越利益	1,702,676	511,867	
当期末処分利益	2,895,184	1,945,931	

利益処分		(単位：千円)	
科目	当事業年度	前事業年度	
<b>当期末処分利益</b>	<b>2,895,184</b>	<b>1,945,931</b>	
利益処分額			
利益配当金	110,145	150,255	
	(1株につき2,500円)	(1株につき3,500円)	
役員賞与金	12,250	93,000	
(うち監査役分)	(1,400)	(4,000)	
計	122,395	243,255	
<b>次期繰越利益</b>	<b>2,772,789</b>	<b>1,702,676</b>	



# 会社概要 (2006年3月31日現在)

●会社名	株式会社サミーネットワークス Sammy NetWorks Co., Ltd.
●本社所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目9番11号 オリックス赤坂2丁目ビル9階
●設立	2000年3月1日
●資本金	22億86百万円
●事業内容	携帯電話、PCへの音楽関連コンテンツ及び、 ゲーム関連コンテンツの配信サービス
●監査法人	あすさ監査法人
●従業員数	274名（国内66名、海外208名）

●役員	(2006年6月16日現在)	
取締役会長	里見 治	
代表取締役社長	大野 政 昭	
常務取締役	石 倉 博	
常務取締役	佐 藤 信 邦	
取締役	新 谷 省 二	
取締役	大 山 太 郎	
取締役	倉 垣 英 男	
取締役	中 山 圭 史	
取締役	西 田 浩	
常勤監査役	嘉 指 富 雄	
監査役	榎 本 峰 夫	
監査役	家 田 和 忠	

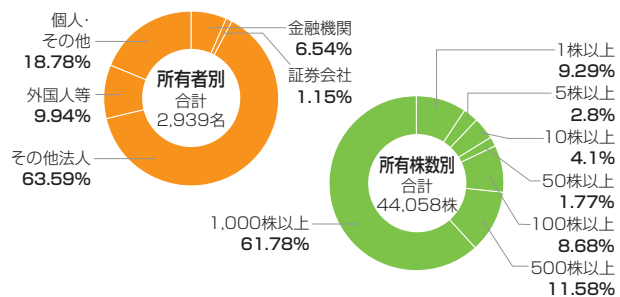
●連結子会社	Sammy NetWorks Asia Pacific Limited JVMMS Holdings Ltd. 広州市華創信息技術有限公司 広州市奥創信息技術有限公司 広州市鴻創信息技術有限公司
--------	---

# 株式情報 (2006年3月31日現在)

●発行可能株式総数	120,000株
●発行済株式の総数	44,058株
(注) 平成17年7月31日から平成18年3月31日までストックオプションの行使により、1,128株増加しております。	
●株主数	2,939名

●大株主	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
	セガサミーホールディングス株式会社	24,804	56.31
	日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,349	3.06
	ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー	1,069	2.42
	ピービーエイチフォーフィディリティージャパン スモールカンパニーファンド	988	2.24
	株式会社ドコモ・ドットコム	804	1.82
	野村信託銀行株式会社(投信口)	789	1.79
	メロンバンクTREEティアークライアンスツオムコパス	750	1.70
	バンダイネットワークス株式会社	660	1.49
	株式会社インデックス	600	1.36
	日本証券金融株式会社	511	1.16

## ●株式分布状況

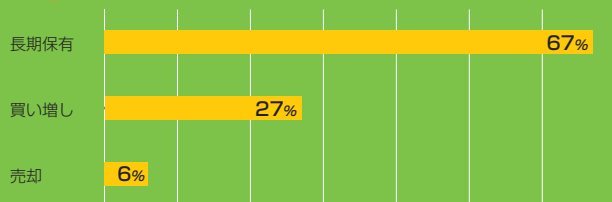


# 株主インフォメーション

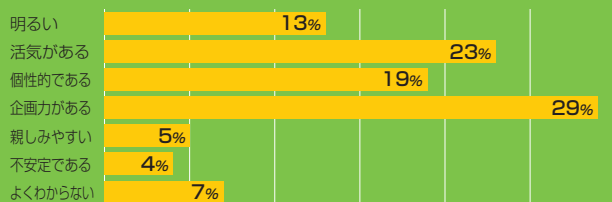
## アンケートのご報告

前回中間事業報告書にて実施いたしました、株主の皆様を対象とした「株主アンケート」の集計結果が整いましたので、主なデータをご報告いたします。アンケートに際しては、多くの皆様のご協力を賜りましたことを、あらためて感謝申し上げます。

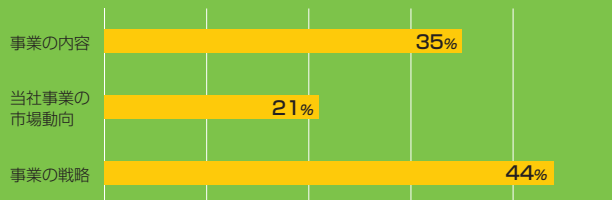
**Q** 今後、当社の株式についてどのような方針をお持ちですか？  
(複数回答)



**Q** 当社にどのようなイメージをお持ちですか？  
(複数回答)



**Q** 当社について、関心のある情報は何ですか？  
(複数回答)



## ホームページのご案内



サミーネットワークスに関する詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。または、IRメールにて最新情報を配信しております。ぜひ、この機会にご登録ください。

### ●ホームページアドレス

<http://www.sammy-net.jp>

### ●IRメール配信

<http://www.sammy-net.jp/ir/mail/index.html>

当社ホームページでは、最新のニュースをはじめ、財務情報、決算説明会資料のみならず、決算説明会の模様もストリーミング配信しております。

©Sammy NetWorks

©Sammy

「着うた」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの商標です。全てのブランド名または製品名は、それらの所有者の商標もしくは登録商標です。

### 今後の見通しに関する注意事項

本誌の記載内容のうち、当社の将来に関する見通し及び計画などの歴史的事実でないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。


## ●株主メモ


事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
	中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所
公告掲載URL	<a href="http://www.sammy-net.jp/announcement.html">http://www.sammy-net.jp/announcement.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。)

## お知らせ

### 株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、端株株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、左記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

 **0120-244-479**  
(三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)

 **0120-684-479**  
(三菱UFJ信託銀行大阪支店証券代行部)

**インターネットアドレス**  
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



〒107-0052  
東京都港区赤坂2丁目9番11号 オリックス赤坂2丁目ビル9階  
URL: <http://www.sammy-net.jp>



事業報告書は、環境保全のため、古紙100%再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。